

# 道路安全管理システム

## 先進PDにより歩行者・自転車のための道路安全管理を実現

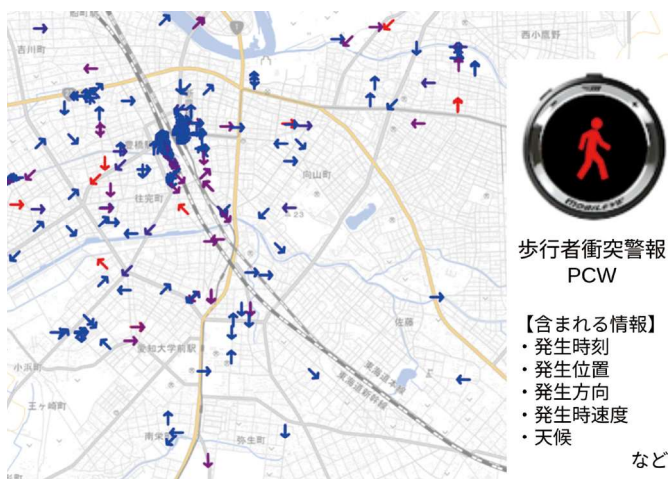
- 豊橋技術科学大学 准教授 松尾幸二郎 准教授 杉木直 研究員 モアザム・イルシャド
- ジャパン・トゥエンティワン(株) 遠真樹 ● (株)マップクエスト 入山裕徳 ● 中日本建設コンサルタント(株) 庄村昌明

### 概要

従来の自動車プローブデータでは、プローブ車両自体の走行状態の情報しか利用していないため、急減速発生時にどのような危険があったのか(相手が人なのか自動車なのか)などが分からず、重大事故に繋がりやすい歩行者・自転車の事故を対象とした交通安全管理が困難であることが課題であった。本プロジェクトでは、先進PDとして取得される歩行者衝突警報の発生位置・発生状況を活用することで、歩行者・自転車事故に繋がる可能性のあったデータを分析することが可能となった。本研究で開発した道路安全管理システムでは、歩行者・自転車事故の危険性が高い交差点を可視化するとともに、交通安全対策の事前事後の状況を容易に比較できる点が特徴である。実証実験として、実際に実施された交通安全対策の効果の早期評価が可能であることを確認した。

### 特長

- 各種衝突警報の発生箇所を可視化
- 過去の事故情報、道路交通環境情報、歩行者衝突警報状況の組み合わせにより、交差点の歩行者・自転車事故危険度を算出・可視化
- 対策実施日など特定のイベント前後の状況を並列画面により容易に比較可能
- 対策効果評価の実証実験結果として、事前3.5年、事後1年の事故情報のみでは効果が検証できなかったのに対し、事前2年、事後1年の歩行者衝突警報情報により統計的に有意な効果を検証



道路安全管理システムにおける歩行者衝突警報可視化



交通安全対策前後での歩行者衝突警報発生状況の比較

- お問い合わせ先 豊橋技術科学大学建築・都市システム学系 松尾幸二郎  
e-mail:k-matsuo@ace.tut.ac.jp 電話番号:0532-44-6864 FAX:0532-44-6833